
平成21年度(第53期)第2四半期決算説明資料

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)



2009年11月17日

<目次>

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略	2
(2) 事業の取り組み内容について	3
(3) 売上高および営業利益の推移	4
(4) 品目別売上高の推移	5
(5) 収益関連指標	6
(6) 総資産・純資産	7

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境	8
(2) 諸施策	9
(3) 業績の見通し	10

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略(連結)

(単位:千円)

	平成20年度 中間期	平成21年度 中間期	前期比(%)
売上高	6,184,254	4,003,176	64.7
営業利益	37,648	△ 190,433	—
経常利益	32,093	△ 109,923	—
四半期純利益	△ 9,887	△ 270,252	—

(単位:千円)

	平成20年 9月末	平成21年 9月末	増減
資産	10,868,438	8,289,236	△ 2,579,202
負債	4,894,191	3,155,227	△ 1,738,964
純資産	5,974,247	5,134,008	△ 840,239
負債純資産	10,868,438	8,289,236	△ 2,579,202

(2) 事業の取り組み内容について

・ 営業

- ・ 低消費電力となるDC(直流)ポンプの拡販
- ・ 新規分野への市場開拓を進める。

・ 製造、購買

- ・ 生産拠点の統廃合を更に進め、生産効率を高める。
- ・ 受注減少にあわせ、子会社を含む生産工程の最適化を図る。
- ・ 生産管理システムプロジェクトを発足し、短納期生産体制を進める。

・ 研究開発

- ・ 環境にやさしい省エネ、低騒音の製品開発
(小型・低消費電力となるDC(直流)ポンプ及びモータの開発)

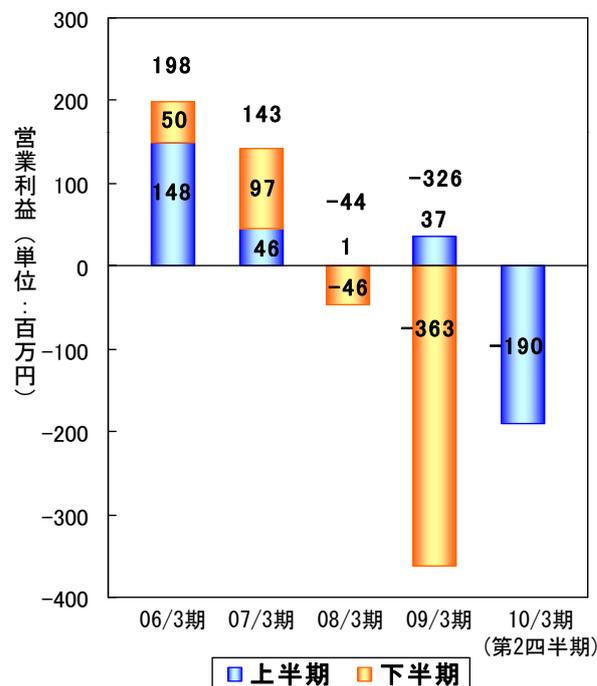
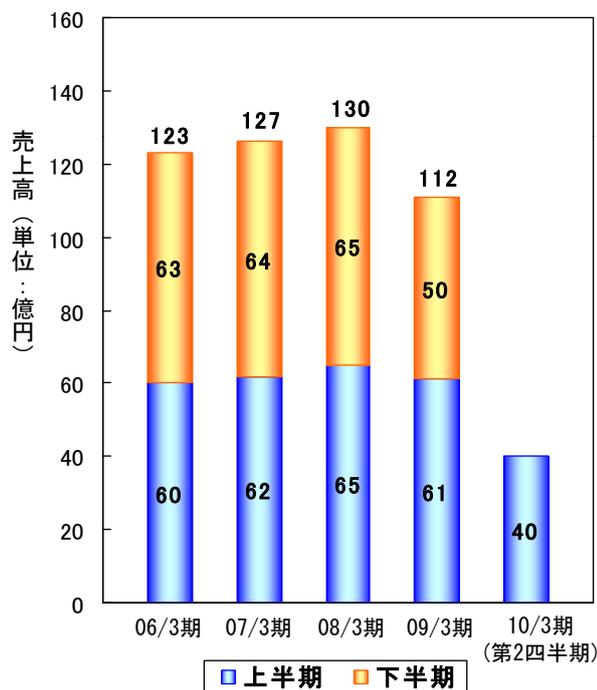
・ その他

- ・ 早期退職者制度を実施し、固定費の抑制と組織体制の見直しを図る。



(3) 売上高および営業利益の推移(連結)

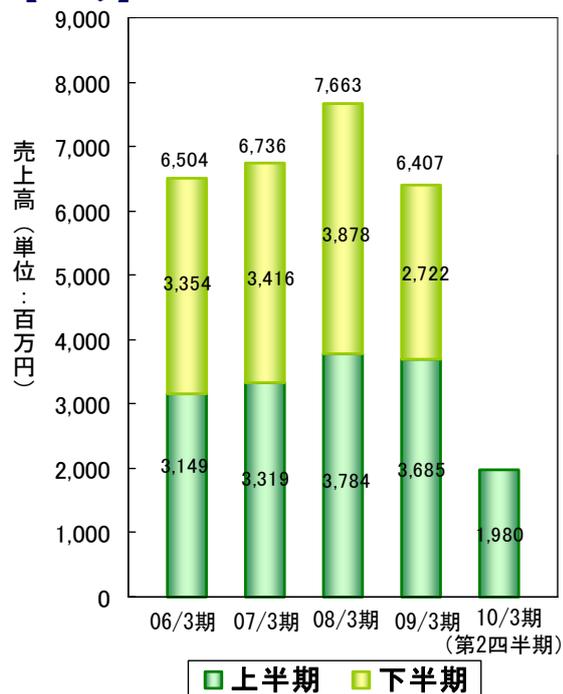
- ・売上高においては、昨年秋以降、世界的な景気の減速により受注は大幅に減少
- ・営業利益においては、一時帰休制度の実施など諸経費削減に努めるが、受注減少要因を賄えず営業損失となる。



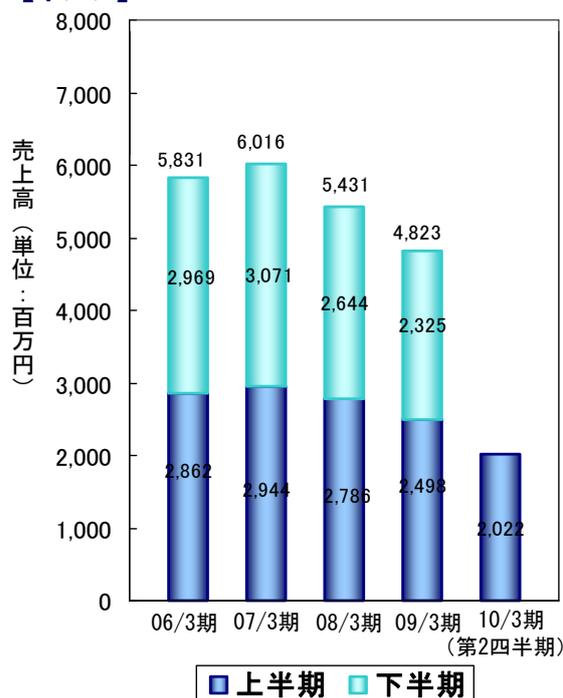
(4) 品目別売上高の推移(連結)

- ・モータでは、エアコン用モータ及び工作機械用モータの受注が大幅に減少
- ・ポンプについては、モータ程の落ち込みは少ないものの、半導体製造装置用や住宅設備用ポンプが減少

【モータ】



【ポンプ】



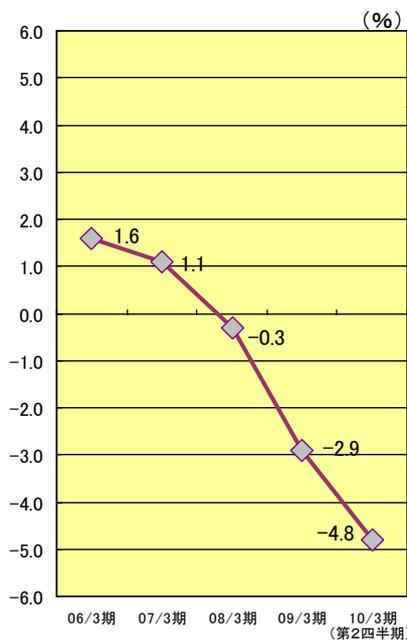
(5) 収益関連指標(連結)

- ・ 諸経費の削減を実施するも、大幅な受注減少により収益性が悪化
(9月15日付けの早期退職者に対して、割増退職金等を特別損失で計上)

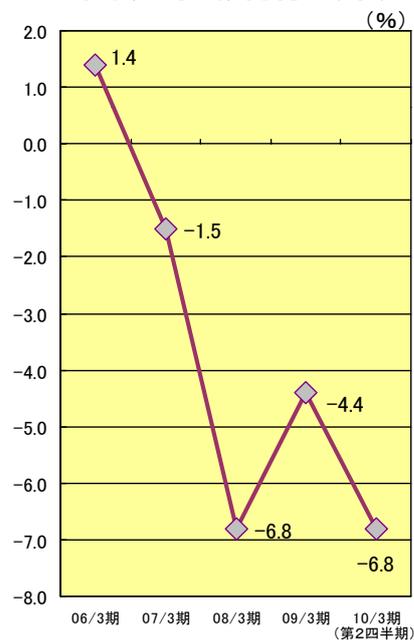
売上総利益(率)



営業利益(率)



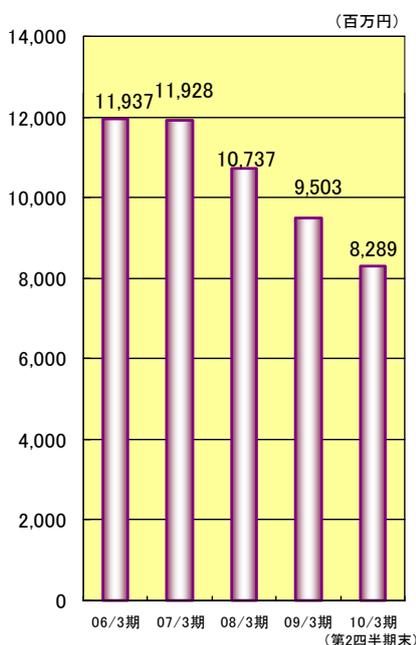
当期(四半期)純利益(率)



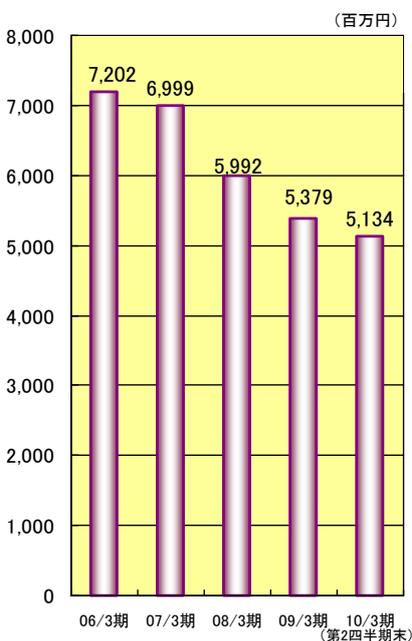
(6) 総資産・純資産(連結)

- ・ 資産については、主に売上の減少により受取手形及び売掛金が減少。また早期退職者への退職金の支払により現金及び預金が減少
- ・ 負債については、主に仕入の減少により支払手形及び買掛金が減少。また早期退職者により退職給付引当金が減少
- ・ 純資産については、主に四半期純損失の計上

総資産



純資産



自己資本比率



2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境

◆ 経済状況

- ・ アメリカの金融危機に端を発した世界経済の後退により、外需に依存する国内需要は引き続き低調に推移し、当社をとりまく環境は引き続き非常に厳しいものと考えられる。

◆ 業界動向

- ・ 当社の関係する空調家電製品は、政府の緊急経済対策により国内では一部に明るい兆しはあるものの、欧米での需要は依然として厳しく、総じて低調である。
- ・ 工作機械業界では、企業の設備投資が低調となるが、半導体製造設備などでは、一部に回復の兆しがみられる。
- ・ 住宅関連業界では、エコキュートなど省エネ給湯器は堅調に推移するが、住宅着工件数の低迷により、床暖房などの設備は低調である。

(2) 諸施策

・ 営業

- ・ ユーザーの環境意識の高まりにより、低消費電力となるDC(直流)モータ及びポンプの拡販を行い、受注回復を図る。

・ 製造、購買

- ・ 生産拠点の再編を行ったことにより、生産性の向上と生産リードタイム短縮を進める。
- ・ グローバルな部材の調達を進めコストダウンを図る。

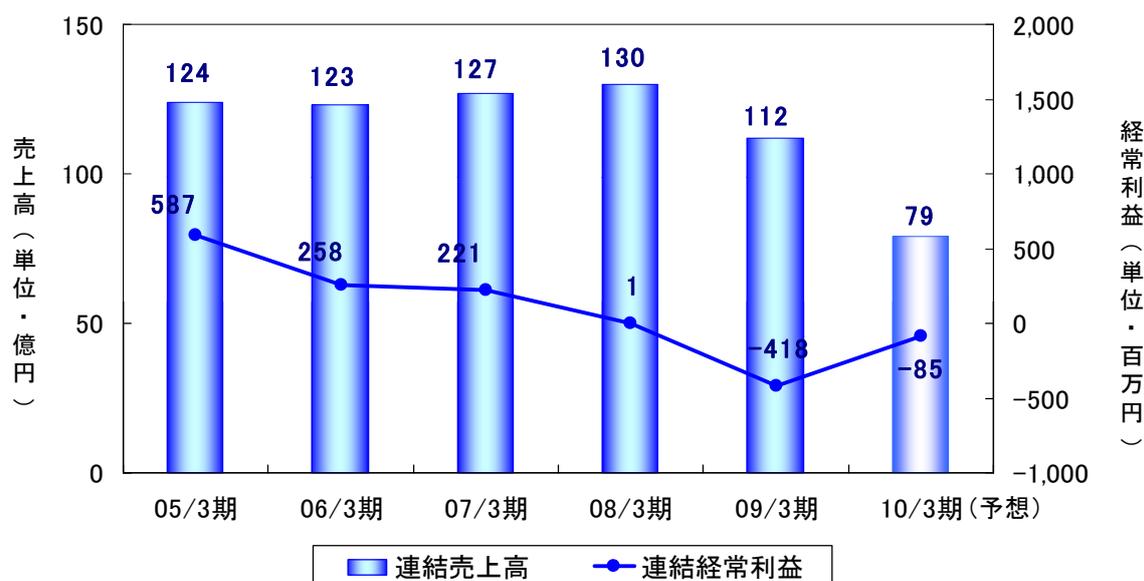
・ 研究開発

- ・ 独創的な製品開発を行い、市場での優位性を築く。
- ・ 環境に適合した低消費電力のDC(直流)モータ・ポンプのシリーズ化を進め、市場のニーズに応える。



(3)業績の見通し

[売上高・経常利益のグラフ]



連結：売上高については、来年以降、新製品の受注等により、徐々に回復を見込む。
利益面については、早期退職者により人件費の圧縮が図られることから、第3四半期以降収益の改善を見込む。

おことわり

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在（平成21年11月）入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承下さい。

お問い合わせ先

三相電機株式会社
統括管理部 経理課経営企画係
〒671-2288
兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号
TEL 079-266-1200
FAX 079-266-1206
E-mail sanso@sanso-elec.co.jp